

## 【直方支局・直方人権擁護委員協議会】

令和8年1月28日、助産師でもある人権擁護委員が直方特別支援校において、今春卒業する高校生20人に、社会に出て注意してほしいことを中心に「みなさんに伝えたいこと」というテーマで授業を行いました。いじめ、ネットトラブル等の問題や性に関する犯罪が社会にはたくさんあり、それらに巻き込まれないため、顔の見えない相手からの情報に警戒したり、信頼できる人に相談するなどして、自分で自分の身を守ることができる人間になりましょう、と話がありました。また、パーソナルスペースやプライベートゾーンという言葉の意味を理解して、交際中の相手から受ける支配や暴力は「デートDV」であり、許されない行為であること、対等な関係を築くには自分も相手も思いやることが大切だ、という話がされ、生徒たちはとても真剣に聴いていました。



【直方支局・直方人権擁護委員協議会】

令和7年10月21日、小竹町立小竹みらい小学校において3・4年生85人を対象に、人権の花運動感謝状贈呈式が開催されました。贈呈式では、担任の先生から、暑い日が多かったものの、水やりや支柱で支える作業をみんなで一緒にやり遂げ、大きくて立派なひまわりを咲かせたことなど、栽培中の様子が報告されました。続く人権教室では「いのちのまつり」の本をプロジェクターに投影し、読み聞かせを行いました。最後に、人KENまもる君・あゆみちゃんが登場し、記念品を贈呈して、各クラスごとに一緒に写真撮影をしました。来年もみんなで協力しあって、大きなひまわりを咲かせてくださいね、また会いましょう、と生徒たちと約束しました。





【直方支局・直方人権擁護委員協議会】

令和7年7月29日、宮若市立光陵小学校児童クラブにおいて1～6年生の児童80人を対象に、直方協議会こども人権専門部会による夏休み人権教室が開催されました。「考えよう いじめ！」をテーマに、人権擁護委員の役割や人権の定義について分かりやすく説明し、「ずっと友だちでいたい」の紙芝居と「考えよう！いじめ」のDVDを視聴しました。児童からは、これからスマホを利用するときは相手はどう思うか考えて返信したい、何か悩みがあるときは家族や先生に相談しようと思う、などの意見が出されました。長い夏休みの間、みんなが元気で仲良く、いじめのない楽しい毎日を過ごせるように願っています。

